

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



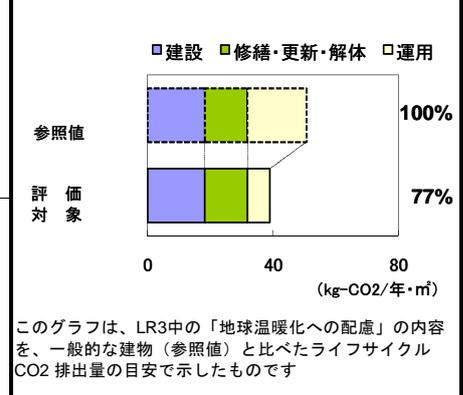
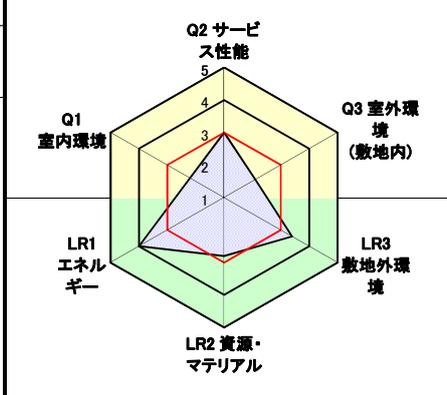
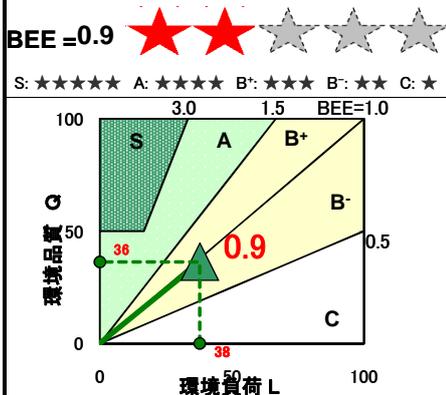
■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要					
建物名称	新潟刑務所 職業訓練棟A				
建設地	江南区 山ニツ381-4				
用途地域	指定なし				
建物用途	工場				
竣工年	2012年3月 予定				
敷地面積	84,076.20 m ²				
建築面積	1,288.80 m ²				
延床面積	2,577.60 m ²				
階数	地上2F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2010年5月25日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{36}{38} = 0.9$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 2.9		バリアフリー	Q2.1.1.3	3
			維持管理	Q2.1.3	4
			更新性	Q2.3.3	2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 2.7		耐震・免震	Q2.2.1	3
			信頼性	Q2.2.4	2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.3		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3
			自然エネルギー利用	LR1.2	4
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.7		節水	LR2.1.1	3
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	1
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。					
<p>人命の確保とともに、収容施設という役割を果たすために、建築基準法に則ったり、堅実な構造計画をしています。敷地内には、雨水浸透施設を設置し、雨水の敷地外への流出を出来るだけ少量に抑えるよう、計画しています。また、収容施設は迷惑施設ととられがちですが、敷地内を積極的に緑化し、建物高さも既存のものよりも低くして圧迫感を低減するなど、周辺環境に溶け込むような建築計画を行っています。</p>					

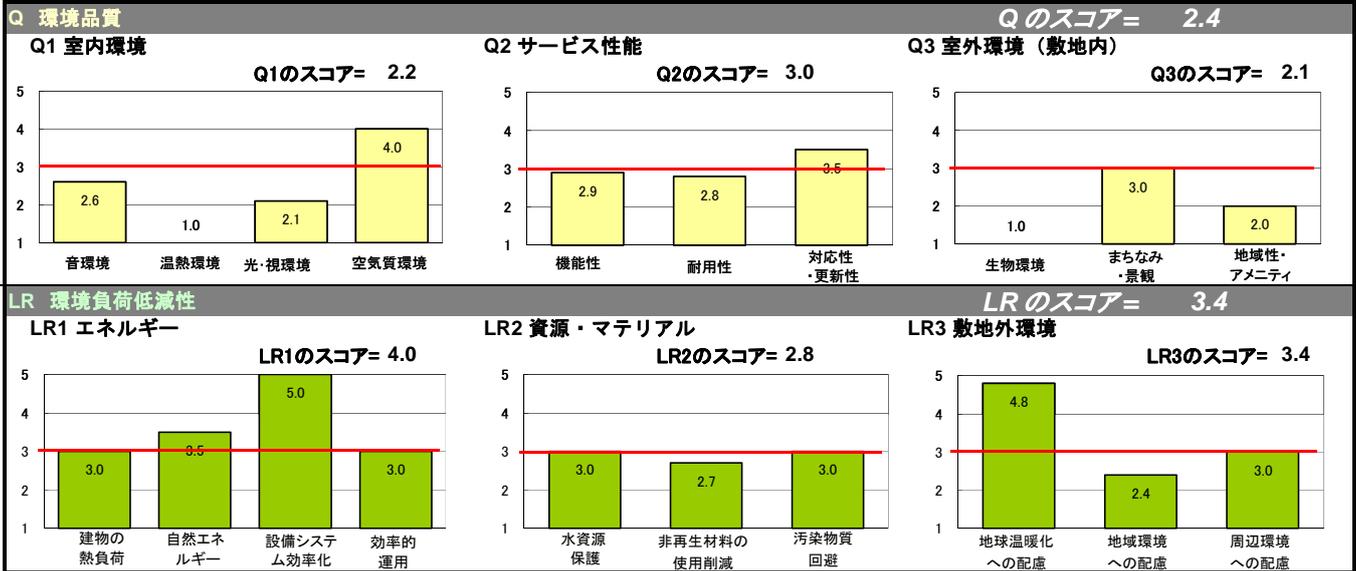
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) 2-2 大項目の評価 (レーダーチャート) 2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 被收容者の社会復帰教育を授ける場である矯正教育施設であることを目指しました。監視しやすくするため、死角をなくす建築計画をしています。周辺環境に溶け込むよう、建物高さをおさえています。		その他
Q1 室内環境 通過動線上のサイン計画は鮮やかな色彩を採用し、明るいイメージにしています。壁面に多くの窓をとり、自然採光を心掛けています。	Q2 サービス性能 監視機能を重視するため死角のない平面計画をしています。物品の移動を円滑にするため、通路幅を広くしています。	Q3 室外環境 (敷地内) 職業訓練棟Aの周辺には、ホワイトクローバーを敷き詰め、カツラを植樹します。敷地内にはカツラ・ハナミズキなどを道路沿いに積極的に植樹し、周辺環境に配慮します。
LR1 エネルギー 設備容量を必要最低限に抑えます。	LR2 資源・マテリアル 構造躯体と仕上材が容易に分離しやすい計画にしています。	LR3 敷地外環境 建物高さをおさえ、近隣への風害・日影の影響をできるだけ少なくするよう考慮しています。

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される